

和歌山市 企業局
水道工務部 管路整備課長

質 問 回 答 書

令和7年6月25日付けで質問のあったことについて、次のとおり回答します。

年 度	令和7年度	
工 事 (業 務) 番 号	25190013	
工 事 (業 務) 名	和歌山市配水支管更新計画策定業務委託	
工 事 (業 務) 場 所	和歌山市内全域	
質 問 事 項		回 答 事 項
●特記仕様書の第2の1の(2) 過年度業務成果の検証について ①重要施設配水管のルートが適切であるかの再検証について、対象は配水支管のみ、あるいは配水本管と配水支管の両方でしょうか。		①配水本管と配水支管の両方が対象です。
●特記仕様書の第2の1の(4) 必要口径（ダウンサイジング）の検討について ②(4)の配水支管のダウンサイジングの検討結果データ（PIPE-mini Winによる）と、(3)の更新優先度の評価結果データ（マッピングシステムによるものと想定）は、データ同士をリンクさせる必要があると考えていますが、そのような認識でよろしいでしょうか。		②お見込みのとおりです。
③データ同士をリンクさせる場合、共通の番号等があり、それを利用してリンクさせることはできるのでしょうか。		③現況管網モデルは、マッピングシステムのデータを基に構築しますので、共通する番号によりデータを照合することが可能です。
④配水管網解析の検討ケースについて、時間最大時は1ケース程度かと存じますが、消火栓開栓時は何ケース程度を想定されていますでしょうか。		④消火栓開栓時の検討に関しては、現況管網及び消火栓の設置状況により、複数ケースとなることも想定しています。

⑤配水支管について、口径が概ね150mm以下で消火栓が設置されている管路は、ダウンサイジングすると消火用水の供給能力が減少するため、ダウンサイジングは困難と考えています。配水支管のダウンサイジングの対象について、どのような管路（口径や消火栓設置の有無など）をお考えでしょうか。

⑤現況管網の状況により、ダウンサイジングの対象とする配水支管を協議の中で決めていきます。